

鳥獣被害防止対策として森林整備を行った事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：府中市

取組のきっかけ・経緯

- ・本市では、野生鳥獣による農作物被害を防止するため、計画的に森林整備を行うこととしている。
- ・前年度までの整備事業により効果が出てきているので、新たに国留地区において整備を行った。

今後の展開

- ・計画的に整備を行っているので、引き続き小堀地区、国留地区のバッファゾーンの整備を行う。

取組の内容

- ・事業主体：府中市
- ・実施場所：府中市上下町小堀、国留
- ・業務委託先：甲奴郡森林組合
- ・業務量：1.97ha
- ・業務金額：6,952千円
- ・業務期間：令和5年1月20日～3月31日

取組後の感想

【良かった点】

- ・地域全体の取組、バッファゾーンの整備により、イノシシによる農作物被害が減少した。

【整備前】



【整備後】



高校生が木製遊具等を制作し児童施設へ寄贈した事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：府中市

取組のきっかけ・経緯

・府中東高等学校の生徒が、広島県産材を使用して、市内児童施設等の備品や遊具を要望に応じてデザイン、制作、設置まですべて行った。

今後の展開

・市内児童施設等から好評で毎年要望があるため、継続して実施する。

取組の内容

- ・事業主体：府中市
- ・実施場所：府中市土生町399-1
- ・業務委託者：県立府中東高等学校
- ・業務金額：700千円
- ・業務期間：令和4年5月2日～令和5年3月31日

取組後の感想

【良かった点】

- ・制作した県立府中東高等学校の生徒が、幼少児童のために役立っていると実感し、就学・就職意欲を強く抱くことができた。
- ・県産材(間伐材)を使用することで、森林の機能や林業について理解を深めることができた。

【活動の様子】



【制作物の例】

